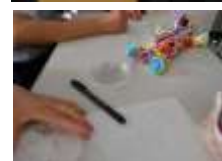




高知工科大学の訪問授業が行われました

9月15日（金）に高知工科大学環境理工学群 准教授 堀澤 栄 氏の訪問授業が行われました。「菌類のふしぎ」と題し、1年次生、2年次生が授業を受けました。



<訪問教育で気づいたこと、感想>

- ・有害な菌が多いと思っていたが、意外とそうでもないことがわかった。植物と菌類が共存していることがわかった。
- ・途中わからないところがあったけれど、菌は奥が深いということがわかった。
- ・菌も分解者として一生懸命頑張ってくれていることがわかった。
- ・菌の構造などを知ることができて、少し興味がわいてきた。
- ・高知工科大学のことを詳しく調べようと思った。
- ・手の菌類を調べる実験が楽しかった。
- ・カビやキノコの種類が沢山あることがわかった。菌類の役割や植物との共生など、とても面白いと思った。
- ・ドクササコという名前が印象に残った。
- ・雷によって窒素が植物の利用できる形になることが分かった。
- ・一度食べ物で繁殖したカビは、表面を取ってもダメだということわかった。
- ・私は生物が苦手だがとても楽しかった。雷と豊作の関係は迷信だと思っていたので、窒素の話聞いて納得できた。
- * 講演の翌週、生物基礎の授業にて、培地で繁殖した菌類を見せました。「うえー！」「汚い！」といった反応でしたが、人によって違う菌が繁殖していたこと、また、指先にも沢山の菌類が存在していることにとても驚いた様子でした。



<講師の先生に一言>

- ・また機会があればお話を聞きたいと思いました。また来てください。
- ・菌類のいろいろな話をさせていただいてありがとうございました。
- ・知らなかったことを教えていただきありがとうございました。勉強になりました。
- ・楽しそうに菌類の話がされている印象でした。今日はありがとうございました。